



# New Library

第 32 号 2020.12

編集 教育推進委員会図書部 学生図書委員会  
地域福祉学科 栗原茉莉子 高山菜々子 阿部夢佳 平尾まどか  
発行 新見公立大学附属図書館

## オンライン選書ツアーに参加しました！

毎年 11 月に行われる選書ツアー。例年だと岡山市内の大型書店にずらりと並べられた本の中から選ぶのですが、今年はコロナの影響でオンラインで開催されました。本を紹介する数種類のサイトを見て、読んでみたい本や図書館には無いけど皆に読んで欲しい本、学科に関する本などを各々が選びました。

### 【選んだ中で特におすすめの本】

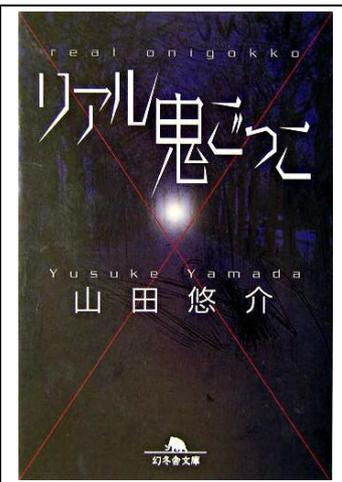
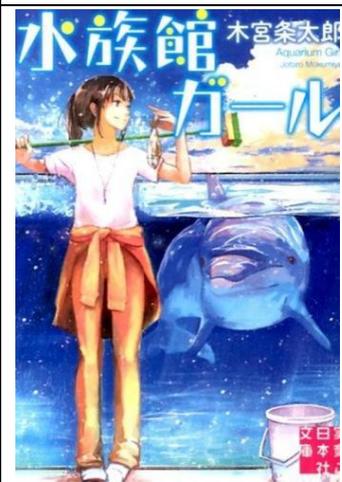
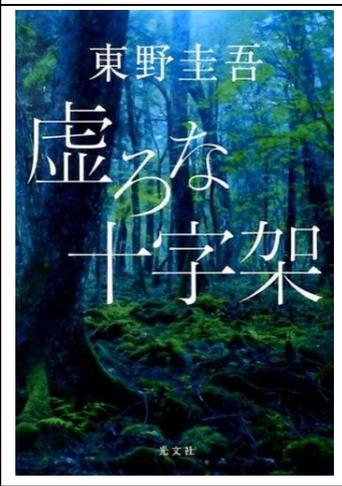
 <p>東野圭吾 人魚の眠る家</p>	<p>人魚の眠る家 東野圭吾/幻冬舎文庫/2018</p> <p>この本のテーマが「脳死」なので看護学生として考えさせられる部分がありました。自分が同じ立場に立ったらと思うと、同じような行動をさせてしまうのだろうか、などと人間の生について改めて考えることができるいい機会になると思います。(看護学科 2 年)</p>	 <p>NO IMAGE</p>	<p>最後の医者は桜を見上げて君を想う 二宮敦人/TO 文庫/2016</p> <p>この本は、「死」を肯定し死神と呼ばれる桐子と、奇跡を信じ最後まで「生」を諦めない福原という正反対の医者物語です。どちらの医者にも共感でき、死と生について深く考えさせられます。(健康保育学科 1 年)</p>
 <p>三日間の幸福 三秋緋</p>	<p>三日間の幸福 三秋緋/メディアワークス文庫/2013</p> <p>「生きていてもいい事なんて無い」と考えた主人公が残った寿命を買い取ってもらい、残りの日数を幸せに暮らそうとする物語。自分の想像力を試され、『幸せ』とは何かを考えさせる作品です。(地域福祉学科 1 年)</p>	 <p>海堂尊 コロナ黙示録 COVID-19 APOCALYPSE</p>	<p>コロナ黙示録 海堂尊/宝島社/2020</p> <p>「チーム・バチスタ」でおなじみの田口・白鳥シリーズの世界でもしも新型コロナウイルスが流行したらというフィクション小説ですが、コロナ禍の今だからこそ興味をそられました。(看護学科 1 年)</p>

### 【参加した感想】

- ・実際に手に取って見るができなかったのが難しかった。(地域福祉学科)
- ・リアルに行くには実習前で心配だったので、オンラインでよかったと思いました。(看護学科)
- ・店頭には無さそうな本を選べるのも魅力的でした。(健康保育学科)

「楽しかった」という感想もある中、「実際に本を見て選びたかった」という感想が目立ちました。来年の今頃にはオンラインじゃないツアーに参加できれば良いなと思います。

# ☆学生選書コーナー☆

	<p><b>リアル鬼ごっこ</b> 山田悠介/幻冬舎文庫/2004</p> <p>西暦 3000 年、国王の命令によって全国 500 万人の佐藤さんが大量虐殺されることになった。鬼に捕まると殺されてしまう「リアル鬼ごっこ」に強制参加させられることになった主人公、佐藤翼の運命は!? 最初から最後までハラハラドキドキするお話です。</p>		<p><b>ジョーカー・ゲーム</b> 柳広司/角川文庫/2011</p> <p>昭和時代、陸軍内に秘密裏に設立されたスパイ養成学校に通うスパイたちのフィクションストーリーです。一見現実味のないように感じますが、読み進めていくうちにどんどん物語に引き込まれていきます。5つの短編小説で構成されているので読みやすいと思います。是非一度読んでみてください。</p>
	<p><b>水族館ガール</b> 木宮条太郎/実業之日本社文庫/2014</p> <p>市役所に勤めている由香は突然水族館への出向を命じられます。客として見て楽しむことしかできなかった彼女にとって水族館の職員として働くことはとても大変で……。それでも真正面から立ち向かう彼女にひかれる一作品です。</p>		<p><b>天久鷹央の推理カルテ</b> 知念実希人/新潮社/2014</p> <p>医者の見習いである小鳥遊は、<small>あめくたかお</small>天久鷹央しか所属しない統括診断部というところに異動させられます。頭はいいが空気を読めない天久に頭を悩ませながら、2人で様々な事件を解決していきます。</p>
	<p><b>虚ろな十字架</b> 東野圭吾/光文社文庫/2014</p> <p>離婚した妻が殺された。犯人だと自首したのは見知らぬ 67 歳の男。妻と男はどこで接点があったのか。主人公の中原道正は遺品をもとに事件の真相を暴いていく。命の重さ、死刑制度の必要性を考えさせられます。一気読み必至です。</p>		<p><b>輝く夜</b> 百田尚樹/講談社/2010</p> <p>困っている人を放っておけずになけなしの貯金をホームレスに渡ししてしまう女性、想いを寄せる社長と残業をする派遣社員の女性、癌で入院中の主治医に想いを寄せる女性など、クリスマスイブにおける5つの物語の短編集です。どれも心温まるお話で、読むと幸せな気持ちになります。</p>

◆寒い日が続く中、新型コロナウイルスの流行に第3波が訪れたようです。これから冬休みというのに……新見市にあるスキー場に行きたいのですが、まだしばらく我慢の時期のようですね。家に閉じこもり、現実から逃げ出し本の世界に旅立つことを楽しもうと思います。(地域福祉学科 1年)

◆今年、新型コロナウイルスでの3密回避やテレビ番組の影響もあり、空前のキャンプブームだったそうです。12月に入り活気のあるキャンプ場にも、冬の訪れとともに静かな時間が戻ってきたようです。私の楽しみは、ホットワインを片手に焚火の爆ぜる音をBGMに読書に耽るキャンプ場での時間。何とも言えない至福の時間です。皆さんも色とりどりの落ち葉に囲まれて、焚火とランプの灯りで読書などはいかがですか？(地域福祉学科 柳迫)

新見公立大学附属図書館 新見市西方 1263-2 Tel/Fax0867(72)0664 e-mail address:n-lib@niimi-u.ac.jp